コラム

Amherst College のモットー TERRAS IRRADIENT に関する一考察

有　賀　誠　一

新島　襄が学んだ Amherst College のエンブレムには、「Let them shine over the lands 国々の上に彼・彼女らを輝かせよ」という意味のモットーがラテン語で刻まれている。



An Emblem of the Amherst College

このエンブレムはラテン語ギリシャ語教授 Nathan Welby Fiske が作成し、1825 年に理事会によって正式に公印として採用されたものであるから、すでに新島在学中に存在していたはずである[1)]。しかしこのモットー TERRAS IRRADIENT の語源については、同大学のウエブサイにも記載がない[2)]。また、そのウエブサイトでは irradient を enlighten（啓蒙する）と英訳しているが、文字通りの訳なら irradiate（照射する）とすべきであろう。enlighten は古語では「光を与える」という意味であったから、誤訳だとは言わないが、語源を探索する助けにはならない。

語源を探索するに当たってまず考慮すべきことは、ラテン語の土、地面、土地、地域などを意味する terra が terras と複数形になっていることである。つまり、1 ヶ所の土地ではなく複数の土地、現代の概念では「国々」を示している。これは、同カレッジの卒業生には、ニューイングランドのみならず他の州、ひいては諸外国をも照らす存在になってほしい、という願いが込められていたからではなかろうか。

世俗化の波は同志社のみならず Amherst College にも押し寄せてきているようであるが（たとえば irradient を enlighten と意訳していること）、新島が在学した当時のカレッジはキリスト教主義が徹底していたから、それより半世紀前に作られたエンブレムに刻まれているモットーがキリスト教に基づいていると考えるのは妥当であろう。だが、聖書の言葉そのものでないことは、ラテン語訳の聖書を参照するまでもなく、容易に想像できる。terras irradient（irradiate the lands 国々を照らせ）という語句そのものは英訳にも日本語訳にも見当たらないからである。

しかしながら、その語句の意味内容を示唆する聖句はいくつか存在する。クリスチャンが真っ先に想像するのは、マタイによる福音書 5 章 14 節にある、「Ye are the light of the world あなたがたは世の光である」[3]というイエスの言葉であろう。しかし最も権威あるとされているラテン語訳（Vulgate ウルガタ）新約聖書では、この聖句は「Vos estis lux mundi」となっていて、lux（光）は名詞であり、語順の違いを除けば日本語訳や英訳とまったく同じであって、「輝け！」というほど強い命令文ではない。

16 節の「Sic luceat lux vestra coram hominibus: ut videant opera vestra bona, . . . 同様に（蝋燭を燭台の上に置くように）汝らの光を人々の前に輝かせて、汝らの良き働きを彼らが見るように、、、せよ」[4]は、14 節よりは積極的に「光を輝かせよ」と示唆しているが、その目的は「彼らが見るように」であって、光はその手段（道具）にされている。terra（土地）との関連も見られない。

「照明する」または「輝く」という動詞の用例はフィリピの信徒への手紙 2 章 15 節にも出てくる。「luceites sicut luminaria in mundo 世にあって星のように輝き」がそれである。しかし、これも、その意味内容は近くても、

terras irradient という語句とはかなりの隔たりがある。

これに対して、旧約聖書の創世記 1 章 14〜15 節に出てくる「And God said,“Let there be lights in the firmament . . . . to give light upon the earth”神は言われた、『天の大空に光る物があって、、、地を照らせ』」の「地を照らせ」にあたるラテン語訳（ジェスイット教団訳）は illuminent terram であって、terras irradient に近い表現が使われている。更に「大空に光る物」が太陽、月、星を意味していることは文面から明らかであるから、内容的には irradient をフィリピの信徒への手紙 2 章 15 節の luceites sicut luminaria（星のように輝く）と関連付けることができるであろう。

以上の考察から筆者は、Fiske 教授が創世記 1 章 15 節の illuminent terrum にマタイによる福音書 5 章 14 節〜16 節と、フィリピの信徒への手紙 2 章 15 節の意味内容を加味して、Amherst College にふさわしい TERRAS IRRADIENT というモットーを作成したと推測しているが、Fiske 教授関係の資料が手元にないので、これ以上のことは言えない。後続研究がなされることを期待している。

注

1）新島の卒業証書にもこのエンブレムが刻印されているはずであるが、未確認。
2）https://www.amherst.edu/library/archives/exhibitions/seal（as on June 20, 2022）
3）本稿では日本聖書協会刊「新共同訳聖書」を使用。英訳聖書は King James Version を使用。
4）この日本語訳は筆者の試訳。